

子供の自主性を尊重する自由遊びと自主学習 —SSNの事業に位置付けて—

埼玉県さいたま市

活動名

大門小のびのび教室

関係する学校

さいたま市立大門小学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度
学校支援地域本部	1人	23人	23年度	有
	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	50人	25日	有
コミュニティ・スクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	指定日	委員数	19年度	有
			児童生徒数	学級数

活動の概要

平成19年度、放課後の子供の居場所づくりを目的に、青少年育成会が中心となって、「放課後子供教室」が開始された。昔遊び等の自由遊びとスタッフによる宿題の支援が中心の活動であった。

平成23年度には、大門小学校チャレンジスクール実行委員会が組織され、放課後子供教室を発展させた「大門小のびのび教室」(毎週月曜日の放課後と隔週の土曜日)がスタートした。

特徴の第一は、「これをやりなさい」とスタッフが指示するのではなく、子供の自主性を尊重し、自由遊びと自主学習を行うことにある。また、これらの活動に付随して異学年交流も大切にしている。

第二は、大門小学校スクールサポートネットワーク(SSN)の一事業に位置づけ、地域全体の支援を容易にしていることだ。青少年育成会を初め、公民館活動、スポーツ指導員、NPO等で活躍する様々な方をスタッフや講師に迎え、子供たちが活動を通して体験する楽しさや地域の良さを味わえるようにしている。

※スクールサポートネットワーク(SSN) …さいたま市では、教育活動の一層の充実を図るため、家庭・地域・行政との連携協力のもと地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることを目的として、スクールサポートネットワーク推進事業を実施している。

● 特徴

【特徴的な活動内容】

放課後の自由遊びは、昔遊び・ボール遊び・縄跳びなどを子供たちが選択して行っている。したがって、スタッフは、一緒に遊びを行う仲間が見つからない時に支援したり、遊びの安全を見守ったりするようにしている。放課後や土曜日に行う自主学習も、子供が宿題やドリルなどを自ら決めて行っている。学習アドバイザーは、わからない時に聞いてあげる程度の役割である。特に、土曜日は、あらかじめ子供が2コマ分の自主学習の計画を立て、目的を持って参加するようにしている。

土曜日の体験活動は、地域で活躍する講師と連携し、スポーツ、科学遊び、文化的活動等、子供の要望も聞きながらバランスよく計画している。子供に人気があるファミリーバドミントンは体育指導員により技術的にも向上している。科学遊びは、NPOに参加する講師により、地震実験、科学クイズ、チリメンモンスター探し等、授業では味わえない科学の不思議さ・楽しさに触れながら行っている。その他、木工や竹トンボ作り、創作折り紙、百人一首等、多彩な活動が行われている。

【実施に当たっての工夫】

のびのび教室は、放課後は全学年を対象に、土曜日は自主学習2コマと体験活動を1コマ行うため3年生以上としている。また、放課後は終了が午後5時のため、保護者のお迎えを原則としている。

なお、体験活動の講師選定に当たっては、大門地区でスポーツや文化活動に活躍する方を中心に、「のびのび教室」の趣旨を理解し、活動の楽しさと地域の素晴らしさを伝えられる方をスタッフが推薦し、実行委員会でお願ひすることになっている。

● 事業を実施して

平成25年度に行ったアンケートでは、「のびのび教室があると生活にリズムができます。」「『今週はのびのび教室がないんだ。』とがっかりしています。」と、子供にとっても家庭にとっても「のびのび教室」が生活の一部になっていることが伺えた。

また、登録者が年々増加しているが、このことが、青少年育成会事業への大幅な参加者の増加にも表れた。これは、一部とは言え、子供が異学年との活動に慣れたこと、また、「のびのび教室」を地域全体で見守る体制が整い、児童が地域に一層愛着を持ってきたことによると考えられる。

● その他

放課後児童クラブの子供の受け入れや、公民館への紹介を行う他、教室スタッフが、育成会事業やPTA事業「大門まつり」への協力を積極的に行っている。「のびのび教室」をSSNの事業の一つに位置付けたことにより、大門地区の他の組織や団体との連携も容易となり、それが教室の活動の充実に結び付いている。



子供に人気の木工「ミニ本箱作り」に挑戦!



グループで自主学習